

2025 年 10 月 17 日

各 位

ゲンダイエージェンシー株式会社
代表取締役 社長 C E O 大島 克俊
(コード番号：2411)
問い合わせ先 取締役 C F O 両角 正人
TEL 03-5308-9888(代表)

通期業績予想の修正並びに
剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当第 2 四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、新たに業績予想の見直しを行った結果、2025 年 4 月 18 日付「2025 年 3 月期決算短信[日本基準]（連結）」にて発表いたしました 2026 年 3 月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたします。

また、本日開催の取締役会において、2025 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1 業績予想の修正

(1) 2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (2025 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A) (2025 年 4 月 18 日発表)	7,800	550	550	370	33.00
今回修正予想 (B)	7,800	750	750	500	44.60
増減額 (B - A)	-	200	200	130	
増減率 (%)	-	36.4	36.4	35.1	
(参考) 前年同期 (2025 年 3 月期) 実績	7,679	418	416	358	29.16

(注) 当社は、2025 年 4 月 18 日開催の取締役会決議に基づき自己株式の取得を行っております。連結業績予想の「1 株当たり当期純利益」については、自己株式の取得の影響を考慮しております。

(2) 修正の理由

売上高については、取扱高が大きい紙媒体広告は当初予想より大幅に減少しているものの、主としてインターネット広告等が当初計画を上回り推移しているため、全体では従来予想通りとなる見込みです。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については、紙媒体と比較し、マージンの高いサービスやインターネット広告の販売が好調であることから、売上総利益が増加しているため、それぞれ上方修正いたしました。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正

（１） 中間配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2025 年 4 月 18 日公表)	前期実績 (2025 年 3 月期)
基 準 日	2025 年 9 月 30 日	同左	2024 年 9 月 30 日
1 株 当 たり 配 当 金	12 円 00 銭	10 円 00 銭	10 円 00 銭
配 当 金 総 額	132 百万円	—	123 百万円
効 力 発 生 日	2025 年 12 月 8 日	—	2024 年 12 月 9 日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

（２） 期末配当予想の修正の内容

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2025 年 4 月 18 日公表)	10 円 00 銭	11 円 00 銭	21 円 00 銭
今 回 修 正 予 想	—	12 円 00 銭	24 円 00 銭
当 期 実 績	12 円 00 銭	—	—
前 期 実 績 (2025 年 3 月 期)	10 円 00 銭	10 円 00 銭	20 円 00 銭

（３） 理由

当社は、今後の更なる事業拡大を図るために必要な投資原資として内部留保を充実させつつも、同時にこれまでの経営活動の成果を株主の皆様へ明確な形で還元するため、業績に応じた配当を継続的に実施することにより株主価値の最大化を図ることを基本方針としております。中期的には、DOE（株主資本配当率）6％程度と配当性向 50％で算定される金額のうち、いずれか高い方を一定の目安として実施できるよう努めております。

以上の基本方針および中期的目標に基づき、当期においては、期末配当性向 50％が期末 DOE 6％を上回る見込みとなったことから、予想配当性向 50％を目安といたします。これにより中間配当及び期末配当予想を増額し、それぞれ 12 円といたします。

結果、年間配当金は、1 株につき合計 24 円（予想配当性向 53.8％）となる予定です。

以 上